

施策評価調査〔途中評価(平成30年度実施)〕

長崎県総合計画における位置付け

		作成年月日	平成30年10月26日	長崎県総合計画記載ページ	29	P
将来像	交流でにぎわう長崎県	施策主管所属	文化観光国際部 観光振興課			
基本戦略名	1 交流を生み出し活力を取り込む	課(室)長名	課長 佐古 竜二			
施策名	(4) 新幹線開業に向けた戦略的取組の推進	施策関係所属(部局名課名)	企画振興部新幹線・総合交通対策課			

1 施策の内容

<p>【取組の概要】</p> <p>平成34年度に開業が予定されている「九州新幹線西九州ルート」の開業を見据え、交流基盤の整備、交流人口の拡大や持続可能な観光地づくりなど官民一体となった戦略的な取組を実施します。</p>	<p>【めざす姿】</p> <p>九州新幹線西九州ルートの開業を控え人と物の流れが活性化している。</p>
--	---

2 施策の進捗状況と評価

施策の進捗状況の評価																						
□ A : 順調 □ B : やや遅れている ■ C : 遅れている																						
<p><<これまでの成果>></p> <ul style="list-style-type: none"> ●九州新幹線西九州ルート開業を見据え、沿線自治体や交通事業者等と連携して、県産品や観光の魅力を総合的に発信し、県産品の認知度向上及び販路拡大、誘客促進を図った。 ●アクションプランの策定に向けた基礎資料を収集し、骨子を整理することができた。 ●キリスト教関連遺産をテーマにした九州3県(長崎、熊本、大分)の周遊ルートを造成し、旅行会社を対象とした旅行商品の造成支援を行ったほか、横断3県専用のWEBサイトを更新し、情報発信を強化した。 ●観光客が県内をスムーズに周遊できるよう、世界遺産の構成資産や関連遺産に地元ならではの食事や体験プログラムを組み合わせた着地型旅行商品を12コース開発するとともに、ワンストップで予約から購入までができるWEBサイトを開設した。 <p><<進捗状況に課題がみられる分野>></p> <ul style="list-style-type: none"> ●29年度は、28年の熊本地震からの回復を目指し、JR西日本との連携による新幹線を利用した旅行商品による送客増などに努めたものの、宿泊客の回復が遅れている。 ●フリーゲージトレイン(FGT)の開発遅れ等により、対面乗換方式後の整備方式が不透明となったことから、平成29年度のアクションプランの策定を見送った。未だ最終的な整備方式は決定されていないが、2022年度の開業が迫っていることから、平成30年度の策定を目指し、気運醸成や周遊のための交通対策に取り組んで行く。 	<p>関西圏・中国圏からの宿泊者伸び率</p> <table border="1"> <caption>関西圏・中国圏からの宿泊者伸び率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値 (%)</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26 (基準年)</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>13.6</td> <td>-16.8</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>21.1</td> <td>-1.3</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>29.1</td> <td>29.1</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>37.7</td> <td>37.7</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>46.7</td> <td>46.7</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値 (%)	実績値 (%)	H26 (基準年)	0.0	0.0	H28	13.6	-16.8	H29	21.1	-1.3	H30	29.1	29.1	H31	37.7	37.7	H32	46.7	46.7
年度	目標値 (%)	実績値 (%)																				
H26 (基準年)	0.0	0.0																				
H28	13.6	-16.8																				
H29	21.1	-1.3																				
H30	29.1	29.1																				
H31	37.7	37.7																				
H32	46.7	46.7																				

3 施策の成果指標の進捗状況

指標	基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	進捗状況の分析
関西圏・中国圏(H26年実績)からの宿泊者数伸び率(主要宿泊施設)	目標値①	/	+6.6% (13.6%)	+6.6% (21.1%)	+6.6% (29.1%)	+6.6% (37.7%)	+47% (H32年)	九州新幹線西九州ルート開業を見据え、早い段階から大手交通事業者・メディア等の活用により、関西に対して本県の歴史・文化、観光、物産の魅力を総合的に発信し、県産品のブランド力向上及び消費拡大、並びに誘客拡大につなげることをしている。 29年度は、自治体等との連携に加え、JR西日本との連携により、新幹線を利用した旅行商品による送客増に努めたものの、その結果、28年度と比べ約40%減少の22,000人減少。28年4月に発生した熊本地震の影響による修学旅行の方面変更などによる宿泊客の減少からの回復の遅れ及びふっこう割の反動減に伴い、毎年6.6%増という目標を大きく下回る結果となった。
	実績値②	—	-16.8%	-1.3%			進捗状況	
	②/①	/	0%	0%			遅れ	
アクションプランの策定	目標値①	/	—	策定			策定(H29年度)	平成29年度は、交通事業者、経済団体、観光団体、行政等で構成する検討チーム会議、庁内会議及び地域別会議等を開催し、アクションプランの内容を検討するとともに、先進地調査を実施し、骨子を整理した。 また、県下各地域に幅広く新幹線効果を波及させるため、地域別において意見交換を行い、取組を推進した。
	実績値②	—	—	未策定			進捗状況	
	②/①	/	—	—			—	

4 新たな課題や社会情勢の変化等

●平成29年度は、交通事業者、経済団体、観光団体、行政等で構成する検討チーム会議、庁内会議及び地域別会議等を開催し、アクションプランの内容を検討するとともに、先進地調査を実施し、骨子を整理した。

●平成28年4月に発生した熊本地震の影響による修学旅行の方面変更などにより宿泊客が大幅減少した。



5 課題を踏まえた今後の対応方針

●県下各地域に幅広く新幹線効果を波及させるため、地域別においてさらに意見交換を深め、取組を推進する。

●関西・中国エリアからの宿泊者数は、熊本地震の影響により平成28年是对前年比16.8%減と大幅に減少し、平成29年も引き続き平成27年の水準まで戻りきれていない状況が続いているため、大手交通事業者との連携による情報発信強化等に努め、関西・中国エリアからの集客と、学校や旅行会社へのセールス等の強化による修学旅行の回復に傾注する必要がある。

6 施策を推進する事業群の状況

事業群①「アクションプラン等の策定・推進」 事業群評価調書 1-(4)-① 参照

事業群②「誘客促進と広域連携による取組の推進」 事業群評価調書 1-(4)-② 参照